

題名：内視鏡的乳頭切除術を受けられた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を横浜労災病院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	内視鏡的乳頭切除術の偶発症発生に関与する因子の検討 -多施設共同後ろ向き研究- (外 F260400013)
研究代表者 (所属)	春日 範樹 (横浜労災病院 消化器内科)
他の研究機関および各施設の 研究責任者	栗田 裕介 (横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学)
本研究の目的	内視鏡的乳頭切除術を施行した症例を対象に、膵炎、消化管穿孔、後出血を含む合併症の発生率とその患者背景や手技内容との関連を明らかにします。
研究の方法 (利用する試料・情報)	横浜労災病院・横浜市立大学附属病院・NTT 東日本関東病院にて 2005 年 1 月から現在までの期間に内視鏡的乳頭切除術 P が施行されました患者様の年齢、性別、併存疾患名、内服薬、治療前後の採血データ、治療前の内視鏡所見 (EUS 含む)、手技内容と使用した膵管胆管ステントの種類や高周波の設定、処置時間、術後合併症や症状などを電子カルテで検索・情報収集します。 研究実施期間：倫理委員会承認後 ～ 2028 年 3 月
利用する試料・ 情報の該当期間	機関の長の実施許可 (2026 年 4 月 8 日) 後 ～ 2028 年 3 月
個人情報の取り 扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-787-2800(代表) 担当者：栗田 裕介 (所属：肝胆膵消化器病学)
備考	